ＥＳＤ，ＳＤＧｓ通信　「新型コロナウイルスに負けない教育を創る」　手島利夫

皆様、東京も日本もかなり厳しい状況が拡大していますね。一層、ご自愛ください。

　今回は3月末に教育新聞のご依頼で書かせていただいたコラム「円卓」記事と、それに関連する話題をお届けいたします。皆さんの危機意識への感度はいくつでしょうか。最後までご覧いただくと測定できるかと思います。

新型コロナウイルスに負けない教育を創る（20200401送信教育新聞コラム円卓4月9日）

命の危険が迫る中、突然休校になり、変則的な卒業式や入学式になるなど、子どもたちにも先生方にも大きな負担がかかっている。しかし、この苦しい中にも活路を見出す教育実践に期待したい。

学校再開の第一に、感染症への対応力を向上させ、みんなの命や安全を守るための知識や意志や行動力を育てねばならない。そのためには、子どもたちが家庭で体験していた苦労話を出し合い、共感するとともに、世界各国で、今どんな問題が進行中なのか、それはいつどのように始まり、広がり、感染者や死者の数がどのように変化しているのかという事実を示し、それに対して、一体、いつどのような対応が行われ、その結果、日本や世界でどのような状況になっているのか、さらに、克服にはどのような手立てがあり得るのかという疑問や不安を出し合い、「私たちはどのようにすれば新型コロナウイルスを克服できるのだろうか」という問題意識を共有化することである。

またそれと同時に、各国の医療状況には固有の課題もある中で、世界各国のリーダーの問題への素早い気づき、情報処理力、判断力の重要性だけでなく、それを受け止める国民の思考力、判断力や共感力・実践力が国の存在をも左右するのだという現実にも目を向けさせたい。

学びの本質は感染症の問題だけではない。グローバル化し、激変を続ける時代において、持続可能な社会の創り手を育てるのが、私たち教育者の大きな役割だとしたら、私たちは現実世界の悲劇をも教材として、子どもたちの問題解決能力の向上を図り、たくましく生き抜く力に変えていかねばならない。

大事なのは問題に気づく力である。まずは先生方がいつ、どの時点で、どんな出来事を通してこの感染症の恐ろしさに気づき、学び始めたか思い返してみよう。どの時点で気づいたかが、その人の問題解決能力のレベルを表している。その反省も踏まえて、子どもたちと気づきの出発点を振り返るとき、気づく力の未熟さに気づき、そこから「学びに火がつき」ＥＳＤの取り組みが始まるのである。　　　　　　　　　　　　　　　　手島利夫

※おまけ（3月末にご異動の連絡をくださったある先生への返信です。上記の記事を書い

た直後でしたので、関連のありそうな内容になっています。）

○○先生へ

何かの機会があれば、中学生や高校生にこんな話はいかがでしょうか。

　「皆さんはついてると言えるかもしれませんね～。人類の生存闘争をライブで見ることができているんだもの。何のことかわからない？新型コロナのことですよ。各国での施策や対応あるいはその国の国民の行動などとともに、患者数や死者数の変化等を見ていると、その国の課題やその国の首相、国民の問題解決能力が一目で分かります。」

　「新型コロナを例にすると、皆さん自身の問題解決能力も簡単にわかりますよ。皆さんは、今回の問題をいつから本格的に心配し始めましたか。

２月27日に、政府から全国の学校に休校要請があって、3月から春休みへ突入。その頃から、危ないなと思い始めましたか。その人たちは（感度３）かな。

実は、今回の問題は、去年の12月末には一部でささやかれていました。（感度Ｓ）

1月には中国で感染爆発。そしてクルーズ船内での感染拡大、（感度５）。

2月には全国で患者が増加、北海道で緊急事態宣言。（感度４）

そして韓国、イタリア、スペイン、アメリカから世界全体への拡大。（感度２）

志村けんさんや芸能人・スポーツ選手が亡くなってから気づいた人は（感度１）

　問題に気づく力が問題解決力の出発点です。いつ、問題の深刻さに気づいたかで、皆さんのアンテナの感度が分かります。いかがでしたか。」

　「３月２８日（土）の夜になっても、高田馬場駅前で酒を飲んで騒いでいた大学生は、『俺たちには関係ない』と思っているようでした。感度０ですね。（その頃に歓送迎会を開いて、署員から大量の感染者を出した挙句、副所長も自分も感染して入院した馬鹿な警察署長も同じ仲間です）」

　「今回のパンデミック対応やその結末をしっかりと見ていくことで、皆さんの問題発見能力や思考力、判断力、共感力、実践力が着実に高まります。そしてそれは、これからも激変を続け、課題が続出する世界を、生き抜く力となって、人類の、あるいはあなた自身の持続可能性を高めることにもつながると思いますよ。教材は目の前にあります。しっかりと学びましょう。学ぶのは今です。」

　新天地での更なるご活躍を期待しております。　　　　手島利夫

